

## 令和元年12月議会一般質問 楠村信二

まず初めに尼崎ボートレース事業の今後のあり方についてです。

本市のボートレース事業は昭和27年の施行以来、事業収益から本市財政に3300億円を超える繰出しを行い、本市発展に大きな貢献を果たしてきました。本市のボートレース事業の売上げは平成3年度の1383億円をピークに減少に転じ、長期にわたる景気低迷、レジャーの多様化、ファンの高齢化により、低落傾向が続いています。近年は広域発売の電話投票が売上げを伸ばしていますが、本場来場者数の減少に歯止めがかからず、低迷の一途をたどっています。

(問1-1) ここでお伺いします。本場来場者数は今後も減少傾向でしょうか。

次に宿泊税創設についてです。本年6月議会で宿泊税について発言をさせていただきました。答弁では観光入り込み客数や市内ホテルの稼働状況など、今後の観光動向を見きわめながら、その導入の要否について検討されるとの事でした。(問1-2) ここでお伺いします。その後、半年が経ちましたが、本市としてどのように検討してきたのでしょうか。

次にLGBT等に配慮した女子中学生のスラックス選択制度についてです。(資料P4)6月議会一般質問で、女子中学生がスカートだけでなく、スラックスも選べるようにしてはどうかと質問しました。答弁ではLGBTへの配慮はもちろんのこと、防寒対策や機能性等も勘案しながら検討されるとの事でした。

(問1-3) ここでお伺いします。来年、春入学する女子中学生はスラックスを選択して、通学は出来るのでしょうか。

(尼崎ボートレース事業の今後のあり方について)

(資料 P1 図表 5、図表 6) (尼崎市ボートレース事業経営計画) ((問 2-1) 本場入場者数が年々減っていますが。このまま減り続けると今後、市への繰出しが出来ない状況になる可能性もあるのでしょうか。)

センタープールは阪神電車駅前という好立地にあり、広さは12万3千平方メートル甲子園3個分という広大な面積を持っています。来場者が年々減少、市への繰出し金が利益処分方法のルールでは、3億2千万円になっており、現在の場所は非効率だと考えます。

例えば、競艇場の土地を貸した場合、約6億円が本市に入ってきます。また、土地をマンション用地に売却した場合、売却益が約280億円になり、マンションが立つと固定資産税や市民税等で約2億円が税収で入ってきます。

(資料 P3) 【試算シミュレーション】

(土地を貸した場合の賃料)

(参考) みずきの湯 面積 約1万5千平方メートル 年間7,200万円

単純に面積で考えると、7200万円×8.2倍=約6億円

(マンション用地に売却した場合の売却益と税収)

(参考) 明倫中学跡地 約1万5千平方メートル 34億円(平成17年)

3棟 400戸数

単純に面積で考えると、34億円×8.2=約280億円

(参考) 新築マンション 1,000戸数(同規模マンション ズットシティ 8万5千平方メートル)

固定資産税 約1億円

市民税(平成30年度決算 市民一人当たりの市民税平均 111,600円)

(50%市外から入居、50%共稼ぎと想定した場合) 約8,300万円

(問 2-2) 阪神電車駅前一等地の資産価値の高い場所で、利益処分方法のルールでは、市への繰出し金が3億円程度になっています。また、今後も来場者数減少など厳しい経営が考えられると思われるので、近い将来のボートレース事業の移転も含め、あり方を考えてはどうかと思いますが、如何でしょうか。

(資料 P 2) (問 2-3) 大阪の夢洲では 2025 年には大阪・関西万国博覧会が開催されます。また、カジノを含む統合型リゾート IR 誘致についても検討されています。現在、夢洲から尼崎港へ海上路について協議がされています。将来、カジノにきた外国人旅行者に海上路を使い、競艇場に来てもらうためにも、尼崎港への競艇場移転も検討されてはどうかと思いますが、如何でしょうか。

(資料 P 1 図表 7)

発売形態別の売上占有率をみますと、年々、購入方法が電話投票にシフトしています。電話投票は全国の電話投票会員を対象としており、投票時に開催しているレースで売上を分け合うこととなります。ですから競合するレースが少ないほど有利となります。競艇場は全国に 24 場、その内、7 場がナイター開催をしています。ナイターレースは夜 8 時半ぐらいまでレースを実施していますが、それ以降の時間帯は全国で実施していません。

(問 2-4) 尼崎港へ移転すれば、ナイターレースよりも遅い時間帯(21 時～24 時)に行く、ミッドナイト競艇(深夜)開催を行えば、売上げ日本一も目指せると思いますが、如何でしょうか。

平成 26 年 6 月議会で、私は尼崎競艇場の尼崎港移転及びミッドナイトレースについて発言をさせて頂きましたが、その後、検討も行われませんでした。その後、大阪・関西万国博覧会の招致の話が出て、2025 年大阪での万博開催が決定しました。カジノ IR についても現在、検討されています。

(問 2-5) 市長はなぜ、競艇場移転など検討もせず、入場者数がこれだけ減少していく中、阪神電車駅前の資産価値の高い場所で、ボートレース事業をこの場所で継続するため、36 億円の予算を使い、施設改修をされるのでしょうか。また、移転すれば、周辺地域の住環境の向上も図れますし、マンション等、住宅用地にすれば、本市の 1 丁目 1 番地であるファミリー世帯の転入にも繋がります。如何お考えでしょうか。

(宿泊税創設について)

(問2-6) 全国で宿泊税を導入する自治体が増えてきており、奈良市は2020年から、沖縄県は2021年から宿泊税を導入します。宿泊税導入している自治体に調査したことはあるのでしょうか。

宮城県が観光振興の財源確保について有識者が検討する「県観光振興財源会議」で「宿泊者への課税が適当」と宿泊税導入する、とりまとめ案を了承しました。

(問2-7) 本市の観光関係事業費はあまがさき観光局補助金はじめ毎年、数億円必要です。本市においても観光振興の財源確保について、有識者会議を開かれてはどうでしょうか。

(問2-8) 今後も観光振興のための財源確保策を講じず、市予算を投じていくのでしょうか。新たな財源確保策はあるのでしょうか。

(問2-9) 尼崎市が宿泊税を導入するにはどういった条件が必要でしょうか。